

## 私のすすめるこの1冊

中峯 浩（産業技術科学科 准教授）

### 『エネルギーをめぐる旅 文明の歴史と私たちの未来』

古舘恒介（著）

私たちの暮らしは、目に見えない「エネルギー」によって支えられています。電気、ガス、ガソリンといった形で日常に溶け込み、もはやその存在を意識することすら少なくなっているかもしれません。しかし、「なぜ今の社会がこのような形になったのか」「私たちはどこへ向かっていくべきなのか」といった問いに向き合おうとしたとき、その答えの鍵を握るのが、まさにエネルギーなのです。『エネルギーをめぐる旅』は、この見えにくいテーマを、壮大なスケールで、かつ非常に親しみやすく読み解いていく一冊です。

本書は、「量」「知」「心」「未来」という4つの観点からエネルギーを探究する旅へと私たちを誘います。第1部では、人類が火を手に入れた原始時代から始まり、農業革命、産業革命、そして現代の電力社会に至るまでの長い歴史を、エネルギーの「量」の獲得という視点で捉え直します。ここでは、歴史が単なる出来事の連なりではなく、「どのようにしてより多くのエネルギーを扱えるようになったか」という進化の物語として再構築されていきます。

人類最初のエネルギー革命は火の使用です。人類が火を利用するようになったのは100万年から150万年前と考えられています。火を使うようになって、人々は調理をするようになりました。これのどこがエネルギー革命なのでしょう。ヒトの特徴は、大きな脳と小さな胃です。脳は大量のエネルギーを消費します。しかし、胃は小さいのでそのエネルギーをまかなうことが

できません。調理をすることで、小さな胃でも十分なエネルギーを吸収することが可能になりました。脳というエネルギー消費機関を駆動するために、火という外部エネルギーを利用する術を人類は身に付けたのです。

次のエネルギー革命は1万年前に始まった農耕です。人類は太陽エネルギーという外部エネルギーを利用して稲などの作物を育成する術を身に付けます。農耕が始まり人類が文明を興すことができたのは周知の事実です。

さらに、文明が進むと、大量の金属や建築物が必要になります。人類は森林に目を付けます。大量の木炭を作り、冶金技術が進歩します。建築物の建立にも大量の木材が必要になります。人類は太陽エネルギーという外部エネルギーを森林という形で湯水のように消費します。地中海沿岸ではオリーブ栽培が盛んですが、実は大量の森林伐採でオリーブしか栽培できないようになったのです。

現在、人類は大量のエネルギーを湯水のように消費し、地球環境を劇的に変えてしまいました。その兆しはこの時点ですで見えていたのです。悲しい本能です。

では、我々はどうすればいいのでしょうか。そのヒントが『エネルギーをめぐる旅』の第2部以降で述べられています。ぜひ、皆さんもこのツアーに参加してください。

## 🍀 リクエストと話題の本を読もう！

リクエストと図書館員が選定した巷で話題の図書を対象に、みなさまの投票で購入が決まります。

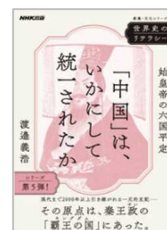
2015 年度より、毎年実施している人気の企画です。昨年度も、リクエスト・投票をありがとうございました。

購入した図書からいくつかピックアップして、月別に紹介します。話題の本をぜひご利用ください。



### 4・5 月

・「中国」は、いかにして統一されたか：  
始皇帝の六国平定 / 渡邊義浩著  
開架 西館 2 階 222.041||W 46



渡邊義浩  
『「中国」は、いかにして統一されたか』  
(NHK 出版)

### 6・7 月

- ・もうじきたべられるぼく / はせがわゆうじ作  
児童書 南館1階 E-1||H 36
- ・クスノキの女神 / 東野圭吾著  
軽読書 南館1階 ||H 55
- ・デレク・ジャーマンの庭 / デレク・ジャーマン著；  
ハワード・スーリー写真；山内朋樹訳  
開架 南館 2 階 629.23||J 25



はせがわゆうじ  
『もうじきたべられるぼく』(中央公論新社)



東野圭吾  
『クスノキの女神』(実業之日本社)



デレク・ジャーマン  
『デレク・ジャーマンの庭』  
(創元社)



### 10・11 月

- ・猫社会学、はじめます：どうして猫は私たちにとって特別な存在となったのか？ / 赤川学編  
開架 南館 2 階 645.7||A 29
- ・星を掬う / 町田そのこ著  
軽読書 南館1階 ||MA 16



赤川学  
『猫社会学、はじめます：  
どうして猫は私たちにとって特別な存在となったのか？』(筑摩書房)



町田そのこ  
『星を掬う』(中央公論新社)



### 12・1 月

- ・ムーミンの哲学 / 瀬戸一夫著  
開架 西館 2 階 130.4||SE 93
- ・女の子が死にたくなる前に見ておくべきサバイバルのためのガールズ洋画 100 選 / 北村紗衣 [著]  
開架 南館 2 階 778.2||KI 68



瀬戸一夫  
『ムーミンの哲学』  
(勁草書房)



北村紗衣  
『女の子が死にたくなる前に見ておくべきサバイバルのためのガールズ洋画 100 選』(書肆侃侃房)

学生・教職員のみなさまからのリクエストをお待ちしています。  
どんどん参加してください！リクエストは随時受付中です。

【5・6 月の投票期間】  
5月15日(木)～6月14日(土)

※結果によっては購入できないこともあります。  
※学習研究目的のものは原則として購入しています。



## 🍀 2025前期ブックハンティング参加者募集！

実際の店舗で図書館におく本を選ぶ「ブックハンティング」に参加する学生を募集しています。ひとり 2 万円の予算で好きな本を選び放題(但し、雑誌、CD、DVD、その他娯楽目的の本は除く)。たくさんのご応募をお待ちしています。

【店頭選書日時】5 月 21 日 または 28 日(水)14:30～16:30

【場所】丸善京都本店(河原町 BAL 内)現地集合・現地解散

【応募〆切】5 月 12 日(月)まで

【申込方法】件名に「ブックハンティング申込」、本文に①学籍番号、②氏名、③当日の連絡先、④参加可能日、を明記して library@kyokyo-u.ac.jp 宛に送信。または、館内設置の申込書でも申込可能。

※図書館ホームページのお知らせもご覧ください。



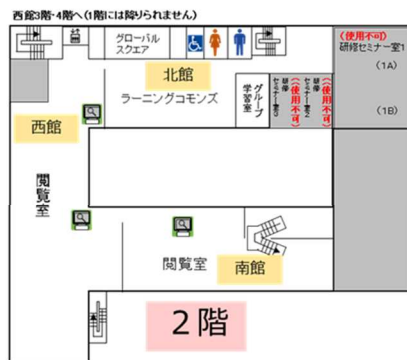
(申込フォーム)

## 事務局棟改修工事中の附属図書館の利用について

令和 7 年度に予定されている事務局棟改修工事に伴い、附属図書館の設備等に利用制限が生じます。なお、日程等は予定です。最新情報は附属図書館 HP をご覧ください。利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



1 階



2 階

### 〔閉鎖〕 図書館西側出入口および入館ゲート

期間:3月7日(金)~2026年5月15日(金)

- ・学生課側からの図書館出入口を封鎖。
  - ・附属図書館へはグラウンド側の北側玄関のみ出入り可能。
  - ・リフレッシュラウンジの返却ポストの撤去。(返却ポストは2/17より撤去。)
- 開館中の返却はカウンターへ、閉館時の返却は北側玄関横の返却ポストへお願いします。

### 〔変更〕 図書館西側階段およびエレベーターへの通路

期間:3月7日(金)~2026年5月15日(金)

- ・西館階段の1階展示室への出入口を封鎖し、2~4階のみ通行可(非常時は1階へも通行可)。2階へはカウンター付近の北館・南館階段をご利用ください。
- ・1階のエレベーターへは、仮設壁で区切った通路からのアクセスとなります。通行時はご注意ください。

### 〔使用不可〕 北館1階 リフレッシュラウンジおよび企画展示室

北館2階 研修セミナー室1・2・3

期間:2月17日(月)~2026年5月15日(金)

※グループ学習室は利用可能です。(10名まで。要予約)



### 展示案内:児童書コーナー

カラクリ工作展

『未詳』:カラクリサークル PYTHA

【会期】4月24日(木)~6月6日(金)最終日は15:00迄



### 予約制! 図書館ツアー・講習会に参加しよう!

図書館ではさまざまな講習会を、4/10~5/30に予約制で開催します。レポート・論文を執筆する前に、図書館職員から施設・サービス・資料の利用方法を聞いてみませんか? ご参加お待ちしております!

【申込方法】氏名・専攻・希望講座・希望日時(曜日・時限(平日 11:30~17:15))を明記の上、メール(library@kyokyo-u.ac.jp宛)またはGoogleフォームから前日までにお申込みください。

調整の上、いただいたメールアドレスに開催日時を連絡いたします。

【集合場所】附属図書館カウンター ※詳細は、ホームページやポスターで!



(Google フォーム)

### 児童書コーナー(南館1階)

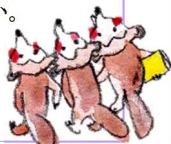


#### 今月の絵本カード(学生作)

『うずらちゃんのかくれんぼ』  
作:きもと ももこ  
出版社:福音館書店



※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。



### 教育資料館 まなびの森ミュージアム

#### 【5月の開館日時】

12日(月)、19日(月)、26日(月) 14:00~17:00



#### 今月の逸品(4~6月)

『学藝大学新聞』  
(全2冊:復刊4号~111号)

展示場所:附属図書館  
1階渡り廊下

教育資料館 まなびの森ミュージアム  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>



## 論のくちび理のむすび

今回の執筆者 榎下 達也 (音楽科 准教授)

### 誰もが参加可能な音楽ワークショップの開発 —中学校特別支援学級におけるパレット・ソノールを用いた活動—

榎下 達也・増田 真結・上羽 貴大・村上 理恵

京都教育大学紀要 2024, No.146, pp. 99-114  
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9940>



1970 年大阪万博の「鉄鋼館」というパビリオンに、フランスの彫刻家バシェ兄弟がつくった「音響彫刻」と呼ばれる巨大な彫刻群が展示されました。バシェ兄弟はその後、この彫刻群の様々な構造的特徴を使って、パレット・ソノールと呼ばれる 14 台の子ども向け教育用音具をつくります。パレット・ソノールは、見て楽しむことも、触って鳴らして楽しむこともでき、また音の鳴らし方も自由というおもしろい音具です。

さて、この当論文で報告するのは、普段は音楽ワークショップを開発するグループとして活動している執筆者 4 名が、京都市のとある中学校の育成学級(支援学級)の生徒さんたちに向けて実施したパレット・ソノールを用いた音楽授業実践です。先ほど述べた 14 台の音具の特徴を活かし、2022 年度の授業では、まずは見た目だけで各自の「お気に入り」を選び、そのあとに自由に音具に触って音を鳴らしてもらいました。そして授業者 4 名と生徒さんたちとで順番交代に音を鳴らして音楽をつくりました。2023 年度の授業では前年度と同じように音を鳴らして遊んだあと、音具の音をオノマトペ(擬音語)で写しとってその言葉をカードに書き留め、さらにそのカードを並べ、音楽づくりをしました。

この論文は、以上のような活動の様子を報告し、「誰もが参加可能な音楽活動のあり方とはどのようなものか?」という問いに対して示唆を得ようとするものです。「正解」のない自由な表現の世界に飛び込んで、生き生きと音を鳴らし、音楽を紡いでいく生徒の皆さんの姿をできるだけ丁寧に記述することを心がけました。ご興味のある方は是非ご一読ください。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 146 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)」の森「<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>」に掲載されています。

開館日程 □9:00-20:00 ■9:00-17:00 ■10:00-17:00  
■9:00-21:00 ■休館(CLOSED)

| 2025年5月 |    |    |    |    |    |    |
|---------|----|----|----|----|----|----|
| 日       | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|         |    |    |    | 1  | 2  | 3  |
| 4       | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
| 11      | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18      | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25      | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

| 2025年6月 |    |    |    |    |    |    |
|---------|----|----|----|----|----|----|
| 日       | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
| 1       | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8       | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15      | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22      | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29      | 30 |    |    |    |    |    |

6/1 創立記念日

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>  
(QRコード→)



京教図書館 News No.296 (2025年 5 月号)  
発行日:2025年 5 月 1 日  
編集発行:京都教育大学附属図書館  
問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人  
京都教育大学  
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION